

特集

Gマーク認定事業所紹介

「人の命が大事」の合言葉を胸に

Gマーク事業所として事故防止対策を徹底

「社会の公器」である運送事業者として安全輸送の継続は責務に

2023年度の「貨物自動車運送事業安全評価制度」が本格的にスタートした(8面に制度概要)。「広報とらつく」では、Gマーク認定を受けている安全性優良事業所を訪ね、Gマーク認定取得の経緯や安全性向上への取り組み、またGマーク取得によるメリットなどを取材した。

今回は、日頃からドライバーに対して「人の命の大事さ」を訴えるとともに、Gマーク取得を機に事故防止活動をブラッシュアップし、安全性向上に繋げてきた、広島県広島市の(株)林運送(林友之代表取締役)本社営業所を紹介する。

株式会社林運送 本社営業所(広島県広島市)

Gマーク取得を機に全体会議の内容を充実 目標を数値化したドライバーの知識を的確にアウトプット



林友之 代表取締役



林太志 取締役室長

(株)林運送は、自動車部品輸送や食品輸送、また引越事業を展開しており、広島市南区にある本社営業所のほか、西風新都営業所(同市安佐南)、廣島北営業所(同市佐伯区)、福岡営業所(福岡県福岡市)、熊本営業所(熊本県熊本市)の5営業所体制となっている。

林社長は、長年広島県トラック協会(小丸成洋会長)引越部会長を務め、事故防止に関する会議に「当社は今年で創業70周年を迎えますが、これを死に事故は発生していません。特に自動車部品輸送に際しては、事故防止に関する厳しいルールが自動車メーカーから課せられており、高い安全性を維持できなければ仕事を続けることができません。Gマークの認定基準を満たせば、荷主が求める安全対策もクリアできます。トラック運送事業者の高い安全性を証明するGマークは、当社にとって欠かすことができないと考え、これまで継続して取得してきました(林社長)。

なお、当社では、Gマークとともに、引越事業者優良認定「引越安心マーク」も取得している(引越サービス名称「日の出引越センター」)。引越安心マークの取得に際しては、引越に関わる全事業所がGマーク認定事業所であることが求められている。

さて、当社における事故防止活動において、最も重要視しているのは「人の命の大事さ」の教育である。同社ではドライバーに対して、「自分の命を大切にするとともに、通行者など周りの人の命も守らなければならない」と訴え、人身事故によって大切な命を失うことの取り組みを強化してきた。

同社では、春・夏・冬の年3回、全体会議を行っている。同会議では、荷主企業やトラック販売会社、また広島県警などの外部に講師派遣を依頼し、事故防止に向けた取り組みや車両整備の方法などについて様々な専門分野の講師から話を聞くとともに、ドライバー同士が安全対策について話し合い、命の大切さや交通事故の悲惨さを全員で考えながら安全活動に取り組むようにしたことで、インプット面、アウトプット面の両面からドライバーの理解が深まる仕組みを構築した。

また、荷主企業から提供される事故防止に関する情報や、同社における事故事例やヒヤリハット事例などをまとめた管理台帳を作成。それぞれの情報についてチェック欄を設け、内容を確認したドライバーに名前を記載させるようにし、全員が当該情報を見たかどうか、管理者が確認できるようにした。

「管理台帳の内容は、点呼などの際に必要に応じてドライバーに再確認してもらっています。事故やヒヤリハットが発生した際には、全ドライバーに内容を水平展開し、同じような事故の発生を未然に防いでいます(林太志取締役室長)。

さらに同社では、広島県トラック協会が主催している「無事故無違反挑戦」トライ・ザ・セーフティンひろしま」にも参加している。これは、ドライバー



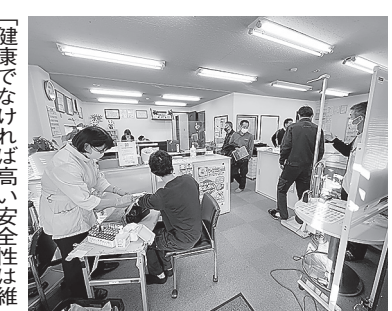
同社では、自動車部品や食品などの輸送のほか、引越事業を展開している。

「健康でなければ高い安全性は維持できない」「ドライバーの健康管理対策を強化」

同社では「健康でない健康起因事故防止に向けた取り組みも強化している。同社では、健診パスを保持できない」との考えの下、健診受診を徹底している。



同社では、本社営業所なら営業所に1点呼を導入している。



健康でなければ高い安全性は維持できない」との考えの下、健診受診を徹底している。



事故防止への目標を数値化し、営業所内に貼り出している

「少しでも体の調子が悪い時は、躊躇することなく、すぐに車を止めて会社に連絡するように」と、ドライバーに対して呼びかけている。あるドライバーは「体の不調を感じた瞬間に、乗務に復帰したドライバーもいる」という。

同社では常日頃から、「少しでも体の調子が悪い時は、躊躇することなく、すぐに車を止めて会社に連絡するように」と、ドライバーに対して呼びかけている。あるドライバーは「体の不調を感じた瞬間に、乗務に復帰したドライバーもいる」という。

無事故継続は「従業員が努力があったからこそ」 10年後も高い安全性を誇れる事業所に

22年のGマーク取得以降、「人の命が大事」の合言葉のもと、様々な面から安全性向上への取り組みを継続してきた同社。同社の本社営業所と西風新都営業所は令和4年10月、Gマークを10年以上取得するなど、長年にわたり輸送の安全確保に取り組んできた事業所を表彰する「中国運輸局安全性優良事業所表彰」を受賞した。

表彰式で、受賞者を代表して謝辞を述べた林社長は、「運送事業者の安全輸送に対する社会的な責任は年々高まっている。これからも『センシブルワーカー』としての自覚をもち、一層の安全輸送体制の構築に取り組んでいく」と、決意を述べた。

同社では、受賞記念の



同社が作成した受賞記念ポスター

会社概要

(株)林運送
【代表取締役 林友之】

本社営業所 広島県広島市南区出島2-13-9
創立 昭和28年3月
資本金 3,000万円
従業員数 115人(うちドライバー103人)
車両数 92台

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター

同社が作成した受賞記念ポスター